



お祭り

夏

残暑お見舞い  
申し上げます

この世界には——  
人間以外のSF(すこしふしぎ)な存在がいると  
昔から語り継がれてきた

妖怪、超能力者、宇宙人  
彼らは我々には知ることの無いどこかで  
今も活動しているのだと

ちやうど今この時も  
広大な銀河の片隅で

紅魔館恒例・真夏の夜のピクニック

おー！

すごいすごい！  
流れ星二つが正面衝突よ！  
パチュリーあなた  
あんなの見たことある!?

見たことないし  
興味も  
無いかなあ…

どうぞお嬢様  
暑い夜には  
これが良いですわ

いえお酒ではなく  
焼魚のすり身とお豆腐に  
お味噌と出汁を加えて  
風味付けに大葉を

それは宮崎名物  
冷や汁よ咲夜！

確かに夏には  
良いですねえ…  
ご飯が欲しく  
なりますが…

そう思って  
ここに炊き立ての  
麦飯も…！

やったー！  
さすが咲夜さん！

咲夜ー  
さゆーりも  
ちようだい

あら！  
ありがとう咲夜！  
…珍しいカクテルね

見てみて！  
流れ星があんなに  
たくさん！

弾幕みたいで  
とっても綺麗だね！

いつか  
宇宙まで行って  
避けてみたいな…

そうだ！  
それを流れ星に  
お願いすれば…

相変わらず  
発想がお子様  
ですこと

む  
ふ

一番大きなのが  
隕石になって  
お姉さまに直撃  
しますように…！

願うって  
姉の破滅を!?

どうしたの美鈴  
ポーンとして…

もしかしてあなたも  
お願いしてた？

…  
…  
…

あ…いや…



お願ひします!!  
 大盛りな  
 お願いします!!



あはっ  
 あら...そうっ?

ただ  
 キレーだなって  
 思っ...!!



何でも  
 ないですよ!



あの光...なんだか  
 大きくなっ...ないか?

?  
 パチュリー様...  
 どうかしましたか?



まじで  
 だ



言われてみれば  
 そのようにも...

!?

やっぱりアレ  
 隕石じゃないの

と  
 いうかこっちに  
 向かってきて...!!

やばい早く  
 みんない







# あまの

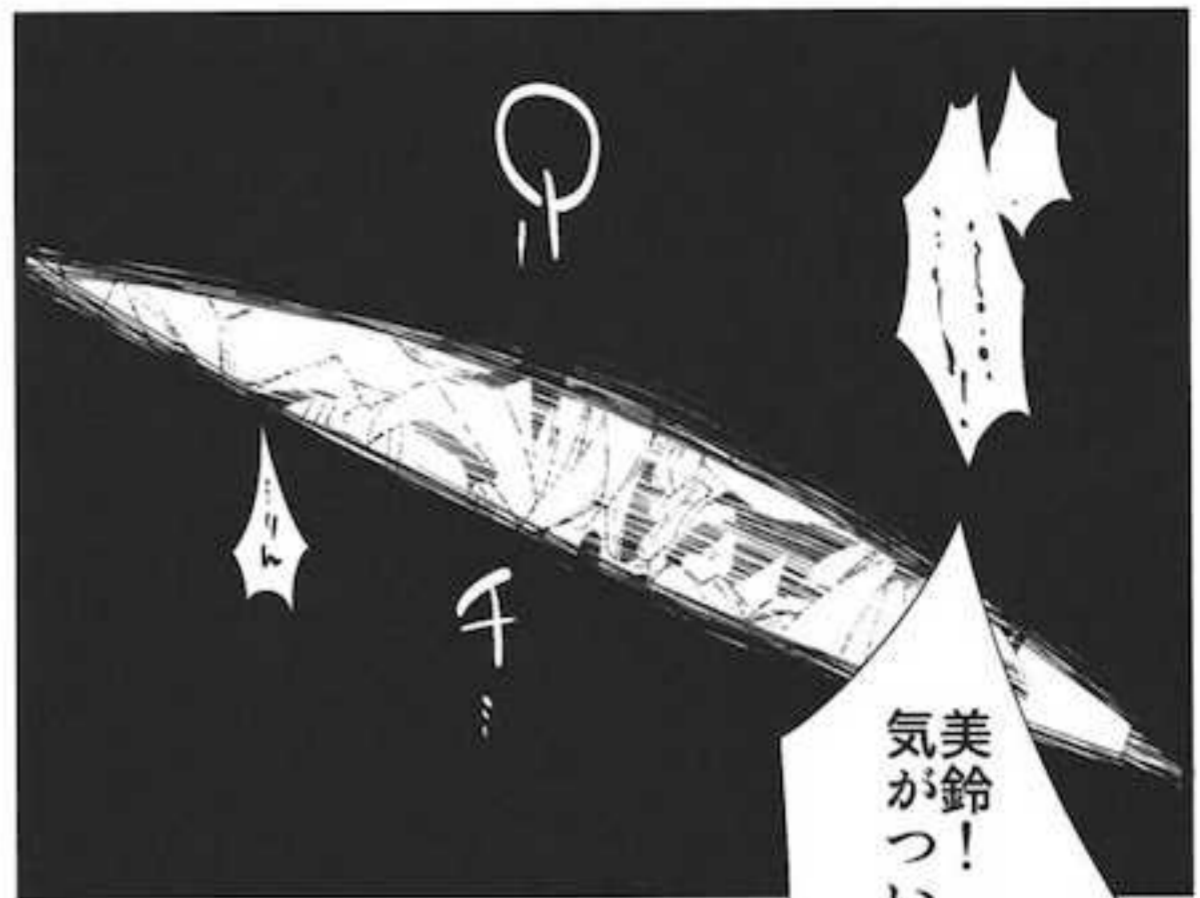
このお話は  
妖怪の少女と宇宙からの来訪者との  
一夏の邂逅を記したものである――



驚かせてしまったて  
すまない!!!

見て分かると  
思うが私は

すいません  
全身タイツでゲロ吐いてる  
人としか分かりません!



美鈴!  
気がついた!?



よかった...!



スマン:  
さつき君と  
ぶつかった時

咄嗟の  
カウンターを  
喰らってな  
だいたい反応  
たぞ!

はあ:  
ありがとう  
ございます...



はあ:  
はあ  
とにかく  
自己紹介だな

私は:  
ウツ  
ちゆうヴお  
まもツ:  
ぶ

ごめん吐く

いや:  
落ち着いてからで  
いいですから...



あれ:  
私:  
何が  
どうなって...?

ええ:  
それがね:



私は宇宙を守る  
光の戦士:  
正義の味方だ!

えっ!?



それは私から  
説明させて  
もらおう!

うわッ!



ああそうだ  
お詫びの印に…

出口だろう!!  
気にするな!!  
君に良いものを  
あげよう

え?

ちぢぢぢぢ  
出でな!



つまり…あなたは  
怪獣と戦ったりする  
ヒーロー的な…!

うむ!  
そんな感じも  
やっている!

わ…すごい  
本物だ…!



私の力を込めた  
ピンプセルの時に  
使いたまえ!

おお!  
こっちの  
袋は!?

さっき  
私が吐いた  
ゲロが!  
捨ててくれ!

うわ汚ねえ  
ちくしょう!

ピヤン



ついでさっきも  
凶悪な宇宙人に  
反撃されてな…  
この星に落下して  
君と…!

そうだったん  
ですか…  
お疲れ様です

ゴゴ



すごい美鈴!  
宇宙人のパワーを  
得たなんて!

は…何だか  
大変なことにな  
っちゃって…

じゃあ  
これで—



緊急事態だから  
命の心配がなくなるまで  
乗り移って生命力を  
分け与えようと思っ  
ている  
安心してくれ!

ぬ



本気で遊んでも  
壊れなかったわね?

かちかちかちかち

いきなりピン子です  
助けてビロおお!



ほう…  
女の子の体は  
こうなってる  
のかあ

さっそく不安な  
こと  
言わないで下さい!

クク



# てっぺんええ

ちびと美鈴！  
なに館壊してんのよー！

咲夜さん  
ごめんなさいー！

コレは  
まずいです！  
元に戻して  
下さい！

あーいや！  
一度巨大化したら  
パワーを  
使い切るまで  
元には……

そんな！



えええ!

妹様落ち着いて!  
今はそれどころじゃあ...  
ああああ!

あーもう我慢できない!  
遊んで遊んで!

美鈴!  
踏んで踏んで!

ああああ...

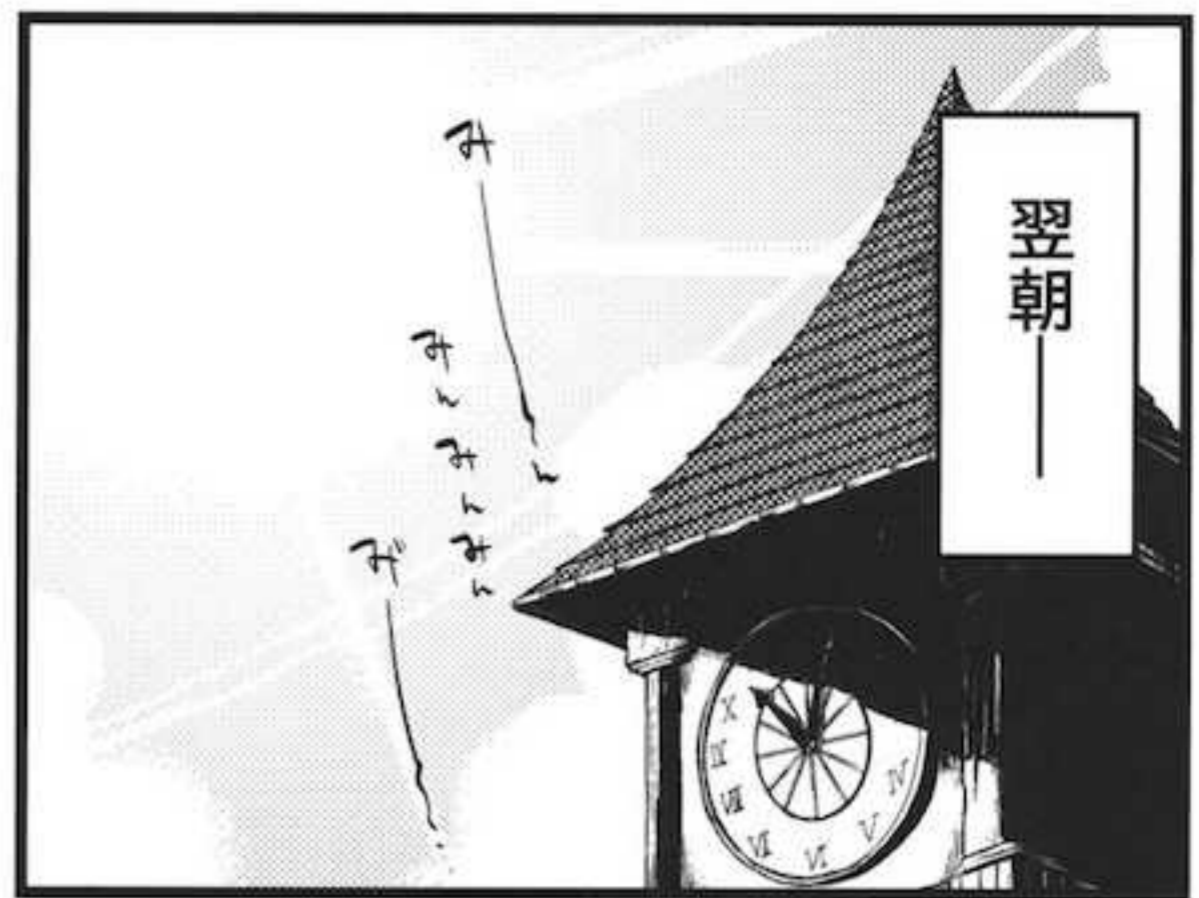


夏休みの  
真っ最中でしょ？

里のガキンちよに  
大人気よ

本人も何だか  
楽しそうだしね

うさー！  
ガッー！！



翌朝



結界を抜けて  
何が来たのかと  
思ったら…

なるほど  
宇宙人ねえ…



緊急事態  
だったもので…  
申し訳ない…

構いませんわ  
ようこそ  
幻想郷へ…

博麗大結界は  
大丈夫なの？

少し穴が  
開いただけよ  
藍に任せて  
きたわ



ところで…お宅の  
門番ちゃんは…

ああ…それがねえ…









我が幻想郷が誇る――



大変です！  
博麗大結界の一部が  
何者かに奪われ……！

巨人の形を取り  
進撃中です！

紫様！  
ご指示を！

超弩級の  
プロゲラム  
大結界がね！

まず里の人間に  
警告して……  
一応霊夢にも  
教えときなさい

大結界が  
奪われたって……！  
大事じゃないの！  
どうすんのよ！

まあ軽口は  
ここまで……  
あなたなら  
対抗策が  
あるんじゃない  
かって？

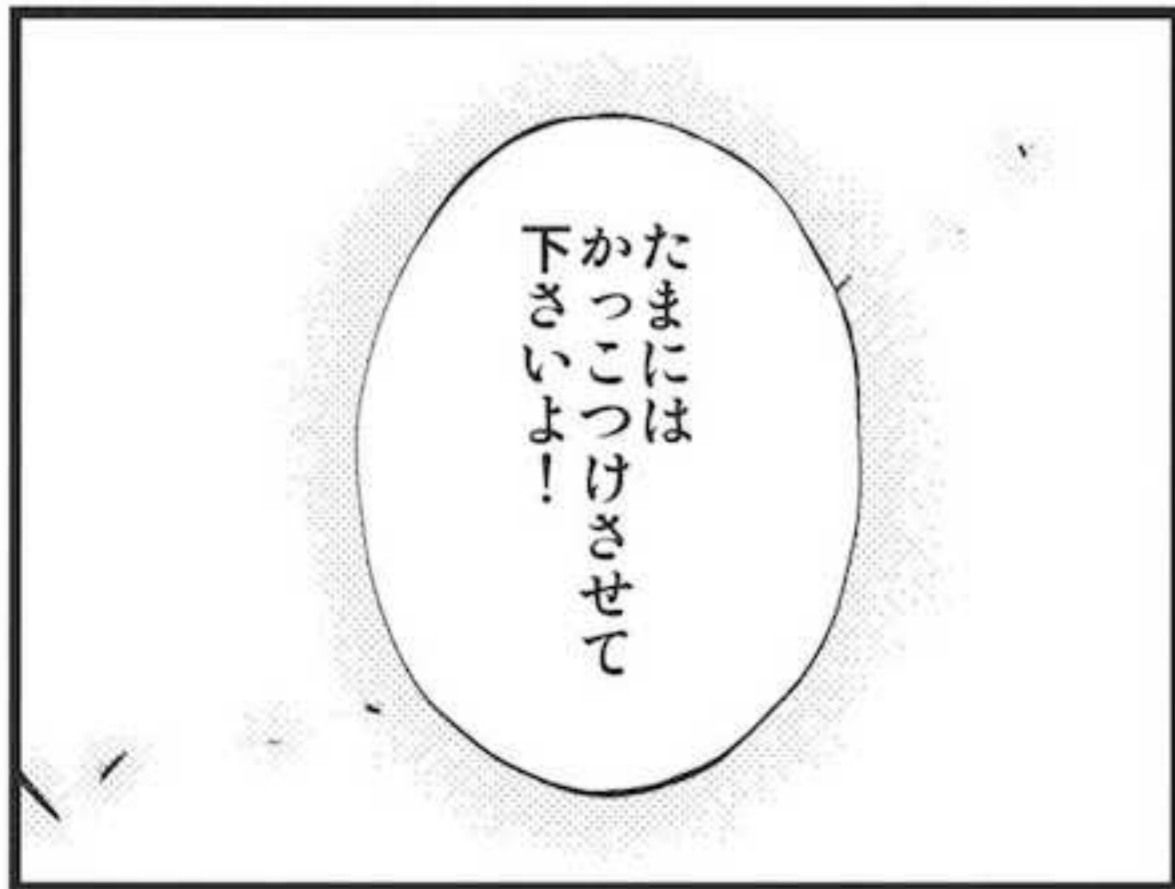
うむ……  
確かに私の  
光の波動は  
奴に有効だが  
しかし……

どうにも  
なんないんじゃない？  
そんなヤワな結界  
組んだ覚えはないし！

何のん気なこと  
言ってるのよ！  
腹立つから舌しまえ！

私が戦うという事は……  
一心同体である彼女が  
戦うということだ――





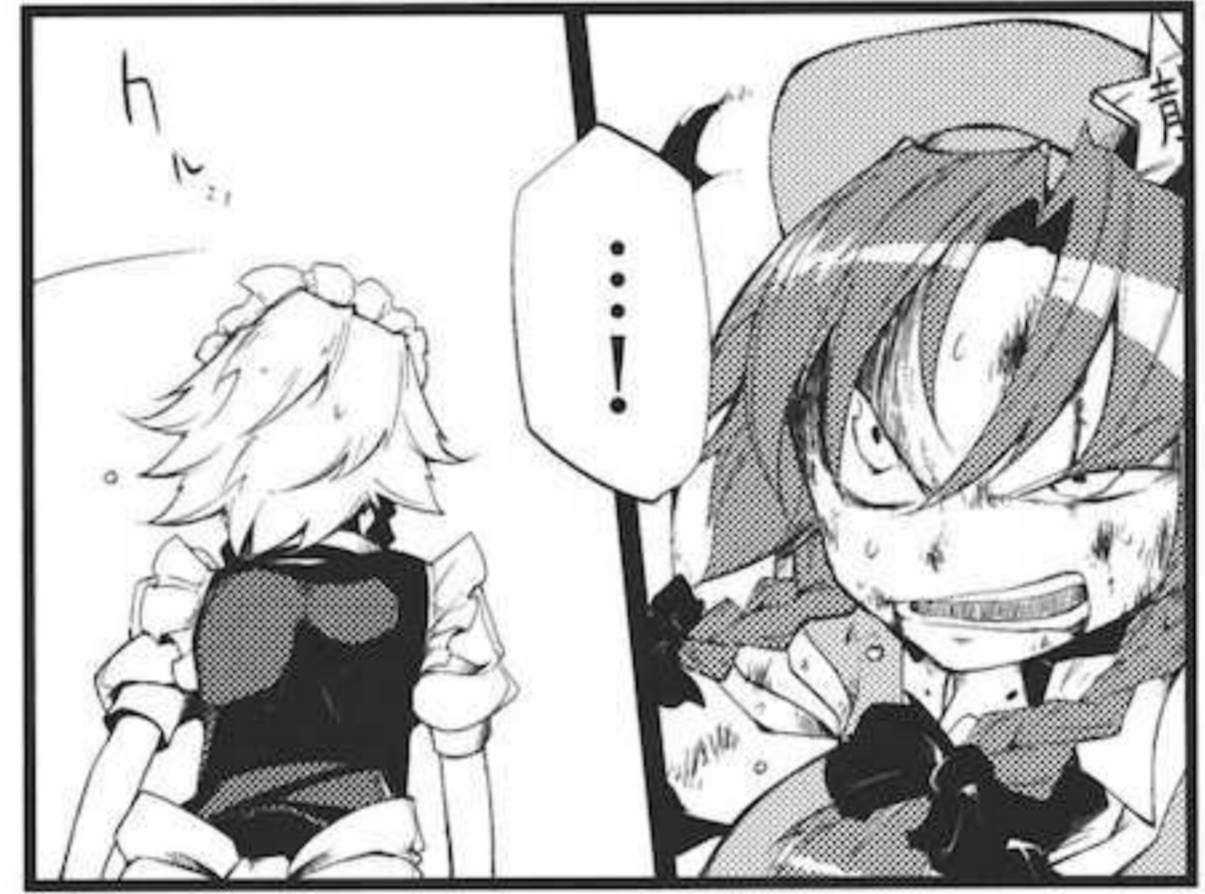




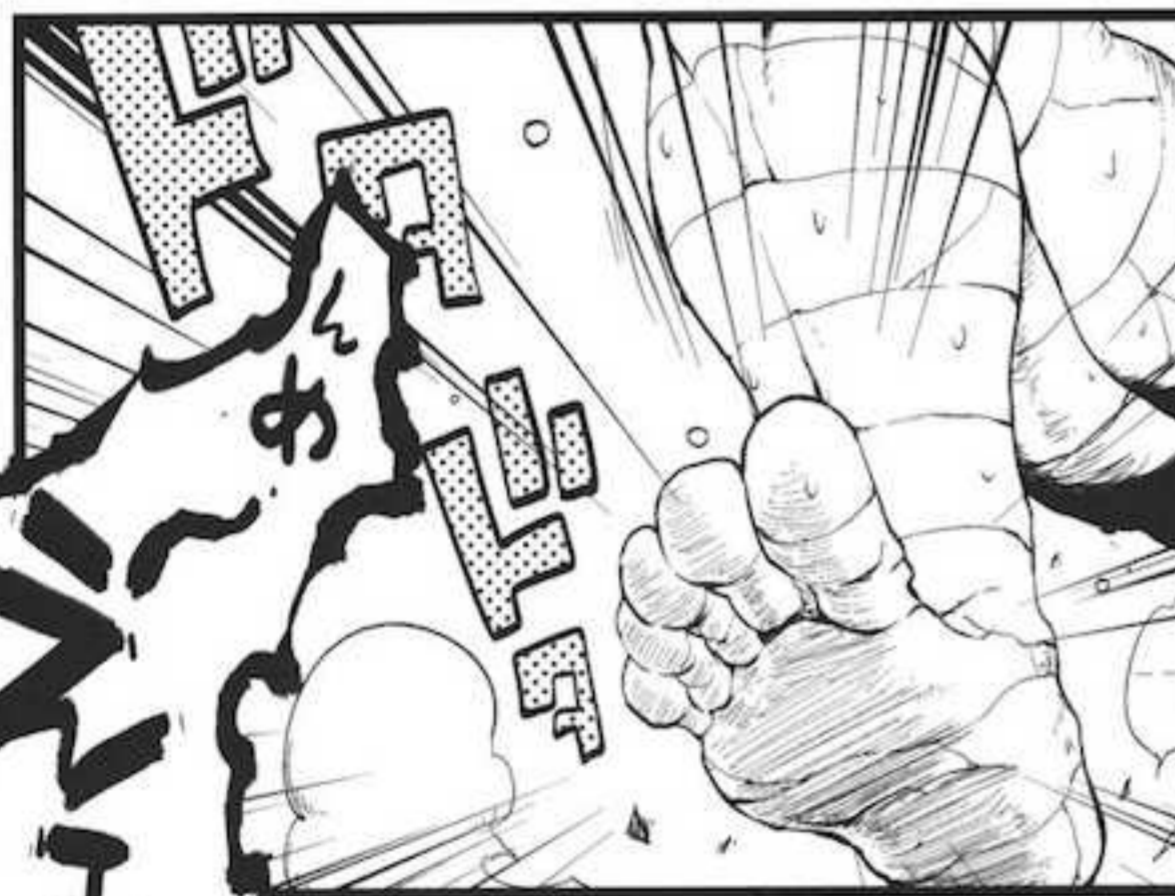












やっほー美鈴！  
見に来ちゃった！



変なの来ちゃったあ！



お嬢様！なんでここに！  
と言うか紅魔館が…  
走って…はし…  
足が！



ふふん  
どうよこれ！

水と火を使った  
蒸気機関により  
生まれる馬力！



これどまさに  
高機動型紅魔館！

館を持ち上げる  
頑強な土の足腰！



そしてそれを  
支える鋼の骨！  
さらに  
張り巡らせた  
木の根で  
全体の補強！

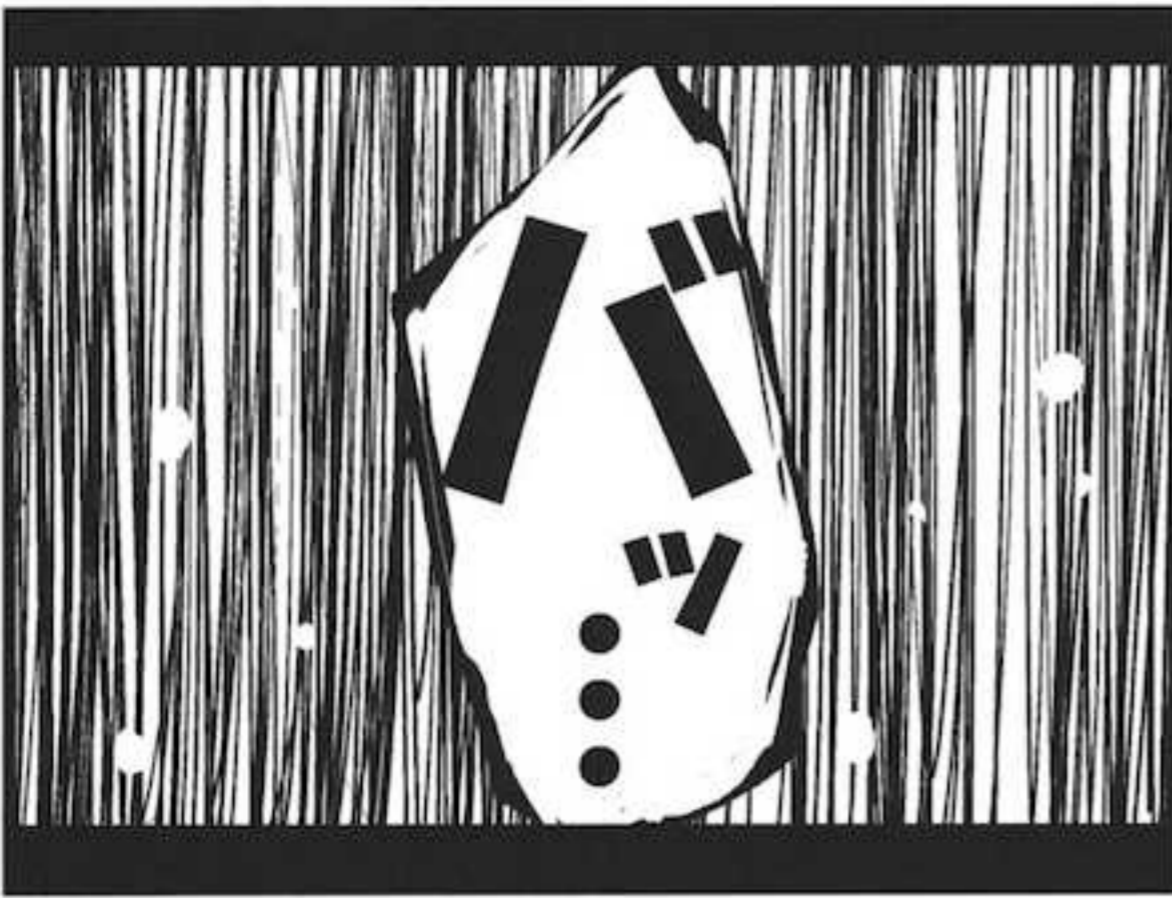
そしてそれらの  
属性魔法を操る  
魔力エンジン  
パチュリッジ！



そのエンジン  
死にかけてますけど！





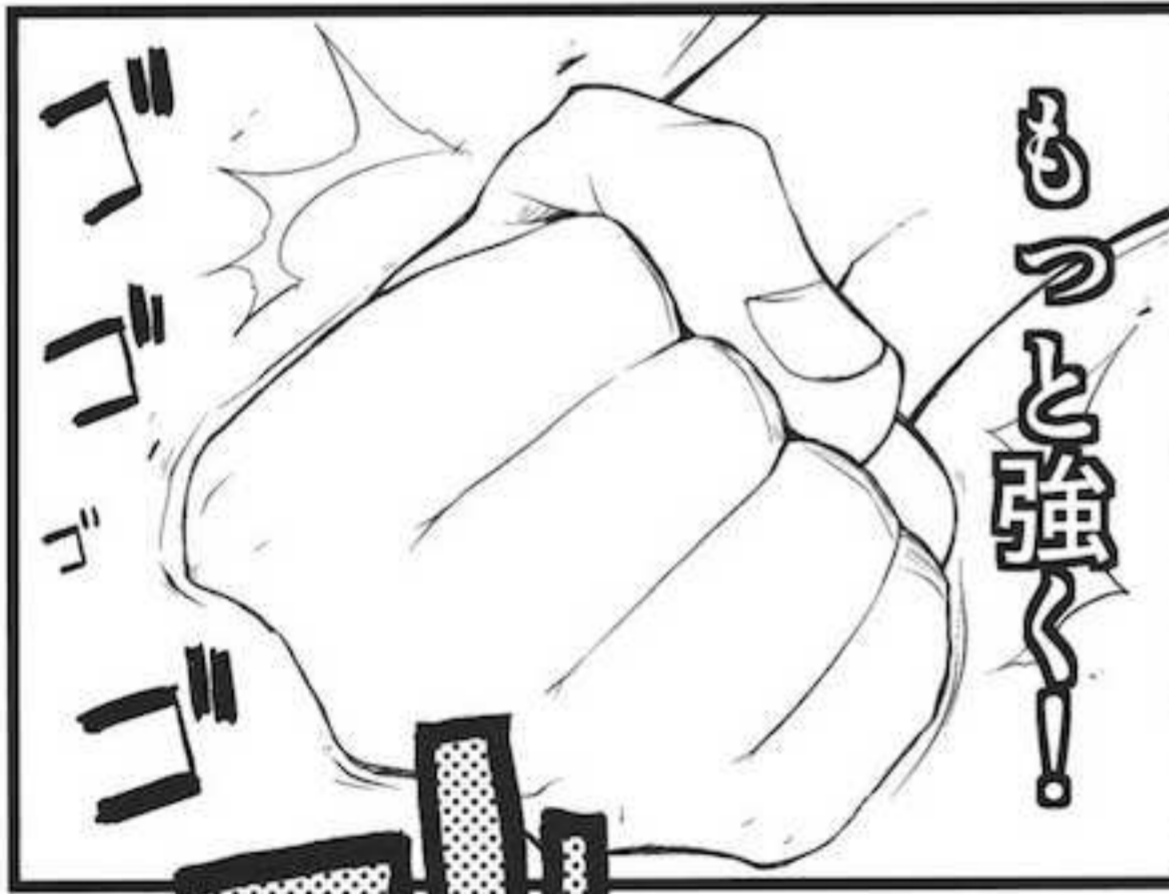


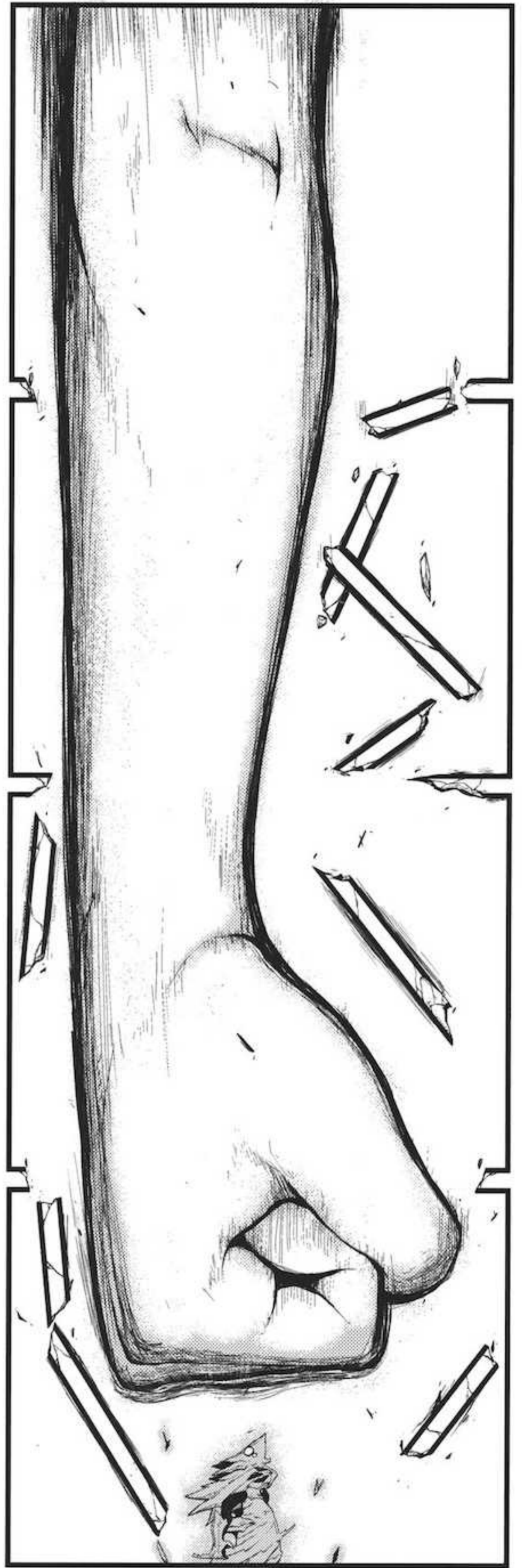






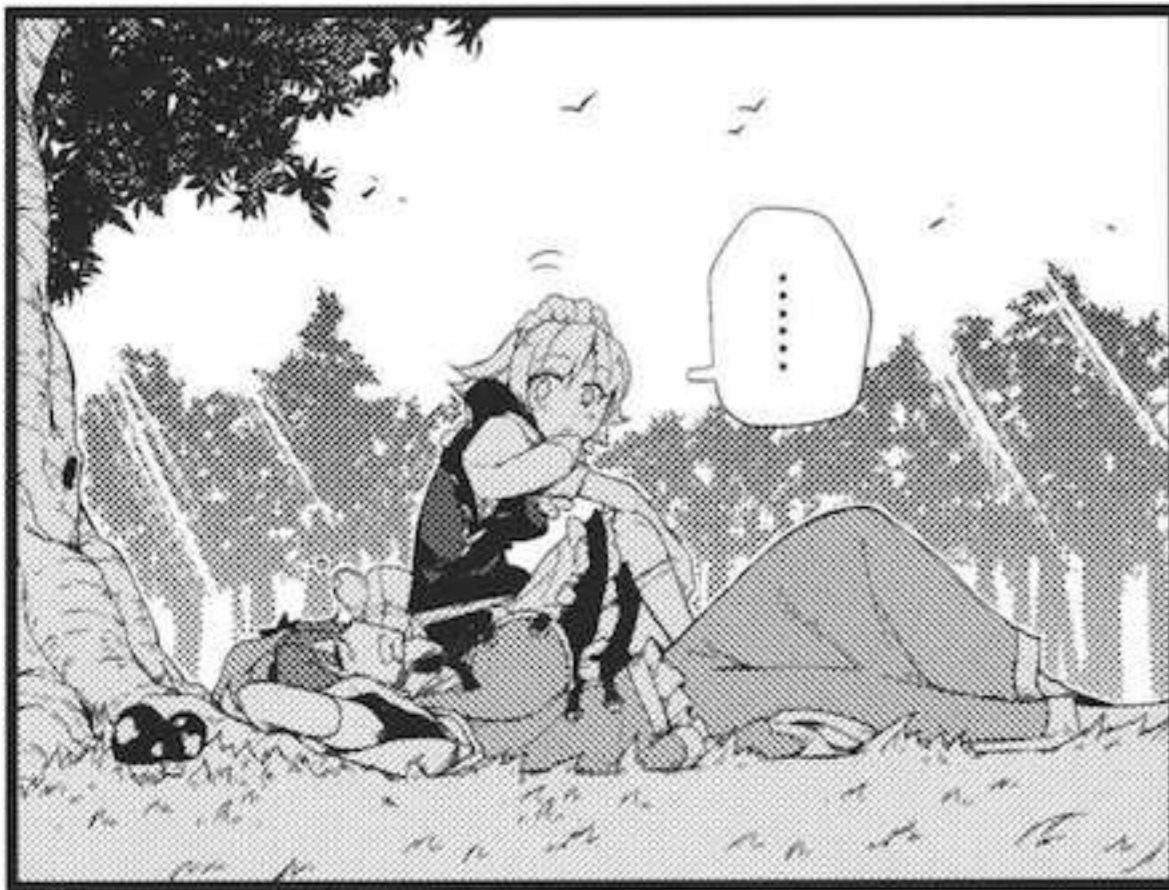
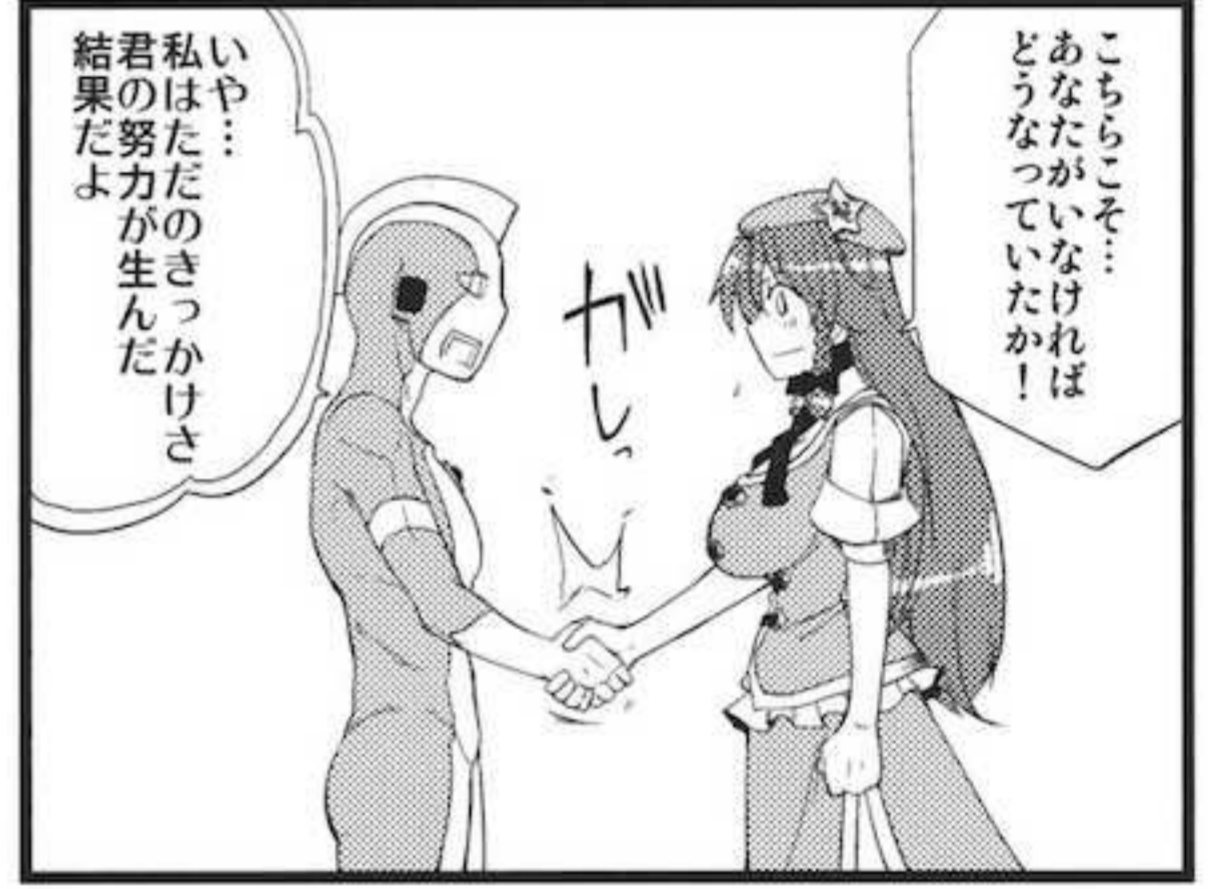
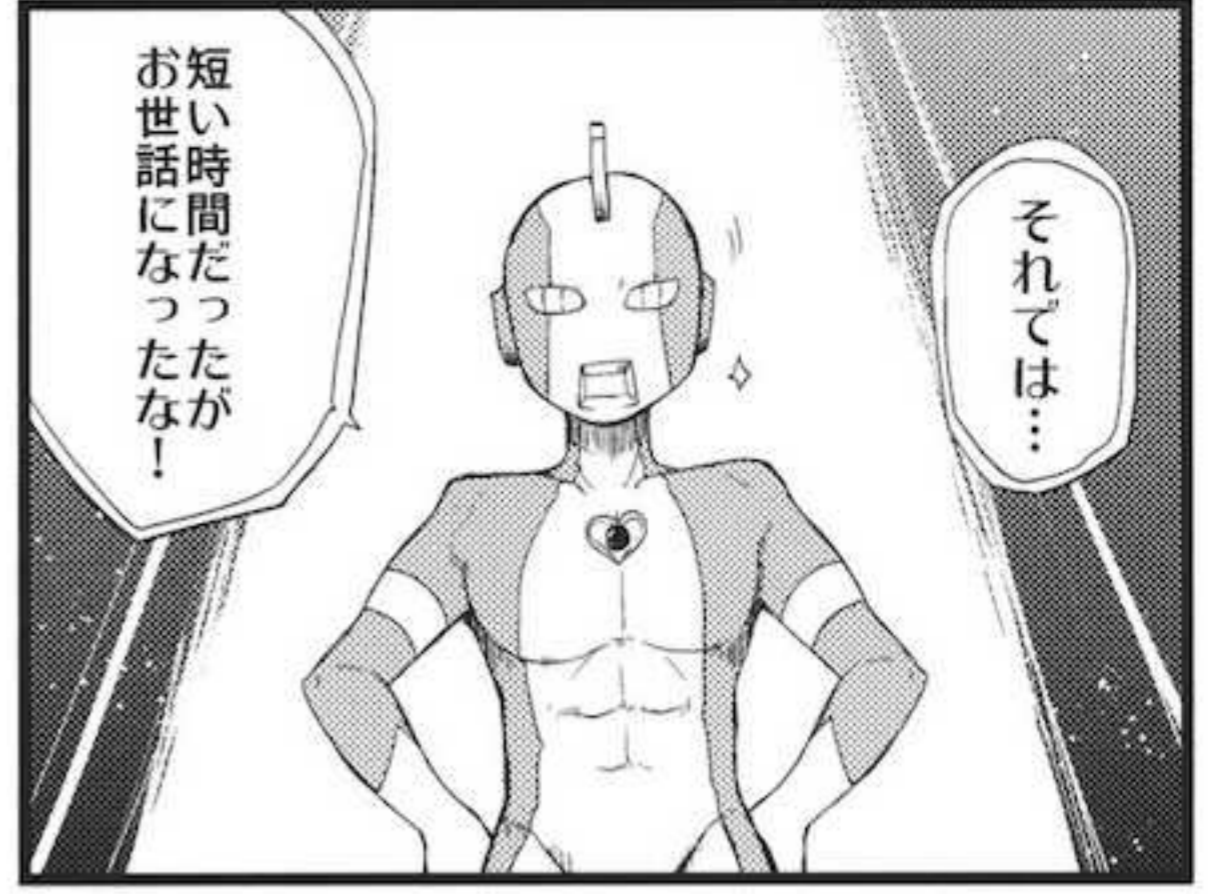
















だって



あなたは昔から



ま…最近はずっと宴会の主人公だったしね



今日のところは勘弁してあげるわ…



それにしてもあれだけの頑張ったのに弄られキャラとは

はー！ローゼ！キキ！ジョー！

スー！

あなたらしいと言うか何と言うか



みんなが気安くヒーローって呼ぶの…私は嫌なのよね…





夏の特別ボーナスよ

いつもよりも少し長く…  
してあげるわね

奥付

原作:上海アリス幻楽団様

印刷:緑陽社様

発行日:2012/8/11 コミックマーケット82

発行:サイチル

執筆者:北斗

<http://scichil.blog92.fc2.com/>

最後まで読んでいただき  
本当にありがとうございました!

えー：以上が  
今回の件の概要に  
なります

えーそのー…  
この地球と呼ばれる  
惑星は…  
うわーすっげー！  
あ…失礼…多種多様な種族が  
共存しており…  
うわ…うわ！

あ…えーその…  
ア…ですね…  
未だ自然が色濃く残る  
うわーおおおお…  
えっと…とても美しい…  
美しい…

いやー確かにある意味  
美しい映像だけどさ…  
生態調査でカメラ  
置いてくつてお前…  
ちゃんと伝えた？

すみません…  
忘れてました…

しかしこれは我々には無い  
貴重な文化の資料となる！  
だからもう少し  
見てよっか…！

2012★SUMMER  
サイチル